

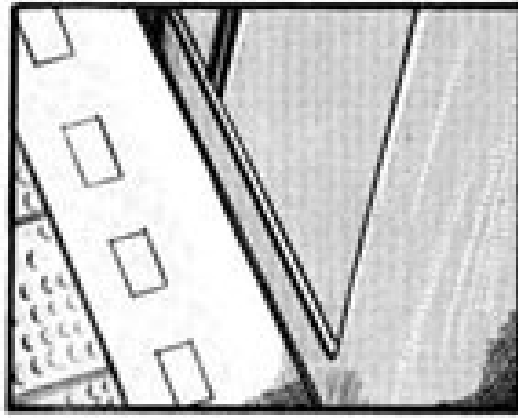
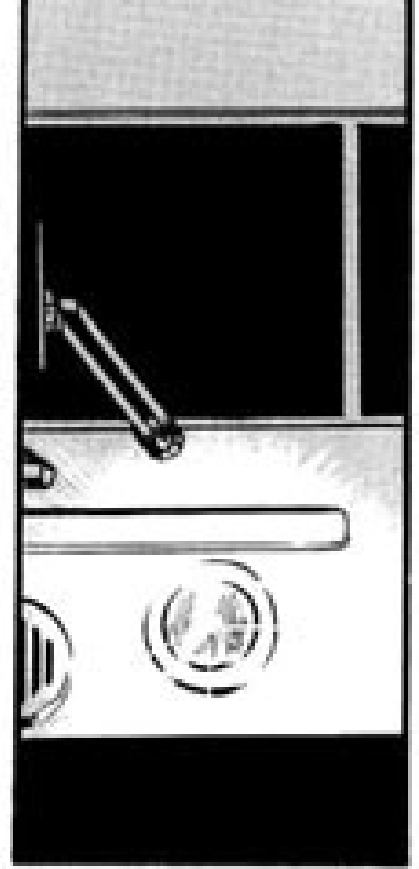
遠距離通勤の罨



烏賊松

私は都心から
かなり外れた
所に住んで
います

通勤に片道
2時間近く
かかる
田舎です



でも朝の電車では
確実に座れるし
痴漢にあう事も
なく通勤できるので
田舎暮らしも
結構気に入っています

ただ帰りが遅く
なったりする日は
私が降りる駅の
辺りまで来ると



ちよつと
怖いくらいに
乗客が少な
かったりします
けど……



そして
その日は用事で
遅くなり



夜11時を
回っていました







その男たちは
いきなり襲って
きました



助けを呼ぼうにも
車内には
見渡す限り人影は
ありません



痴漢を避けられる
はずの電車が

かえって
アタになって
しまいました

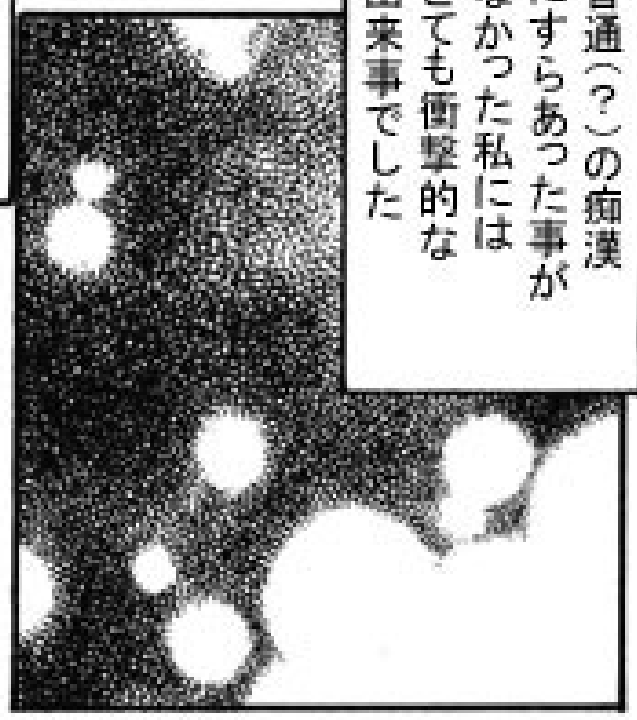


へたに逆らっても
ケガするだけ
損だけぞ?

気持ち良く
してやるから
力抜けよ



普通(?)の痴漢
にすらあつた事が
なかった私には
とても衝撃的な
出来事でした



恐怖のあまり
声も出せず

その痴漢たちの
なすがままに
なつてしまいました



そんなに
怖がるコト
ねーだろ

素直に
感じて
いいんだぜ??



どうせ
ガマンできなく
なるんだからよ



うっ...



あっ...ん



こんな…
強引に
触られて



ちや



くっくくく

感じるよ…
なごいかな



この女
かなりの
好き者だぞ
……

ちよつと
いじつただけで
マ○コが
ヌルヌルだ

たろくな
……

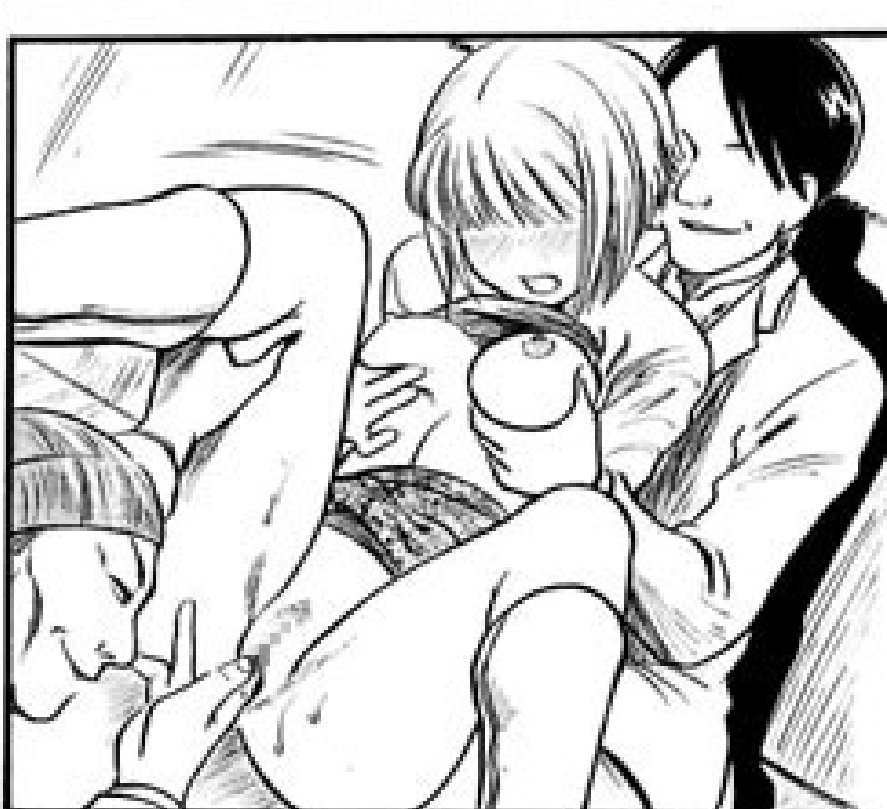
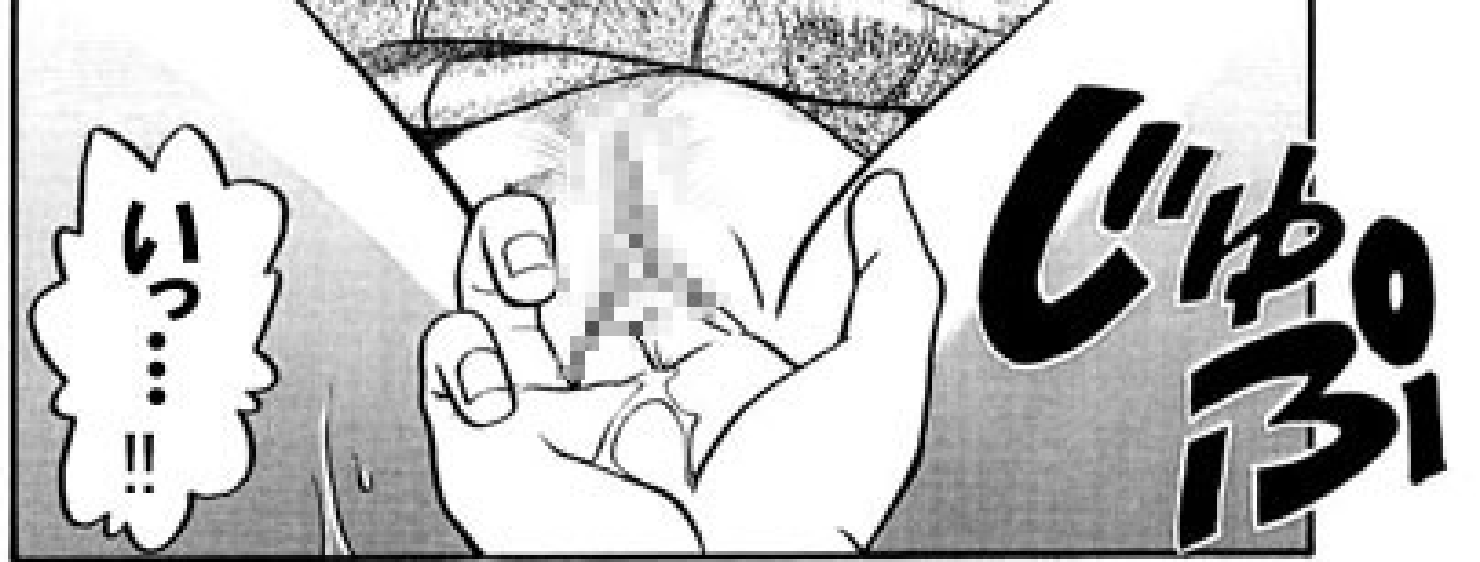


こっちも
乳首が
勃起しっぱなし
だぜ



ち…
違…

感じて
なん…か
……



自分の身体に
裏切られる
なんて…

いやらしい汁が
どんどん
垂れてきて
るぞ〜



指じゃない
モノが
欲しいんじや
ねーかあ!?



あああああ…



カ
タッ

回転しながら
奥まで一気に
二本の指が
入って来た瞬間

反射的に
お腹を引いて
腰を前へ突き出して
しまいました





今から
突っ込んで
やるからな

足を
しっかり
押さえてろ

いっあ...



それはまるで

自分からおねだり
しているような
とつても恥ずかしい
ポーズでした



抵抗するヒマも
ありませんでした

愛液が溢れていた
私の恥ずかしいトコロは
痴漢のソレを
すんなりと受け入れて
しまったんです



ん...!

それまで必死で
抑えていた
快感の波が

一気に全身を
駆け抜けました

痴漢のソレが
カリの部分が
すごく大きくて

ゆつくりと出し入れ
される度に思わず
ため息が漏れて
しまう程気持ち
良かったんです

そうになると
もう我慢なんて
できません

小さく
うめくと
私は

んん
…

イッてしま
いました

そして
降りる駅に
着くまで

ずっと
イカされ続け
.....

